

大槌町と盛岡市における住民交流会を通じた心のケア事業

平成30年度被災者の参画による心の復興事業
事業計画

(岩手県盛岡市及び大槌町)

～NPO法人サンガ岩手～

取組の目的・概要、効果・特徴

取組全体の目的・概要:

現在サンガ岩手は岩手県大槌町に被災者の為のコミュニティスペース「手作り工房おおつち」を開設している。今回はこの手作り工房を拠点とした食事交流会を開設し被災地での生きがいづくり、こころのケア事業を行う。大槌工房内にこころのケアの専門スタッフを常時し、傾聴を行う中で、被災地での仲間作り、生きがいづくりを促し、地域のコミュニティ形成とこころの復興を目的とした活動を行う。

被災地で被災者自らが運営開設してる手づくり工房を拠点とした活動を実施する。活動を通じたこころの復興を目指す。被災地に活動拠点として工房を持ち様々な生きがいづくり活動をする事で他の地域でも実践可能なコミュニティ形成のモデルケースになると考えられる。

取組内容

平成30年度被災者の参画による心の復興事業

取組①「事業名:住民交流会活動の実施」 実施主体:サンガ岩手

■住民交流会活動

日時:毎月1回(11日の月命日の日)

場所:手づくり工房おおつち(岩手県大槌町)と盛岡市「シェアハート村」

対象:岩手県大槌町、盛岡市 被災地域の住民

食事やお茶会を通して人々が仮設住宅や工房につどい集まり心の交流を図ることが出来るサロン活動、交流活動を実施する



取組②「事業名:こころのケア事業」 実施主体サンガ岩手

■仮設住宅を傾聴スタッフが訪問し、随時見守り活動を行いながら傾聴活動を行い震災からのこころの復興を目指す。

■予約制で「こころの相談室」も別途行う。

内容:生活不安、震災後のストレス、人間関係の悩みの傾聴を行い、こころの不安に寄り添う。

相談:手づくり工房内での傾聴、又は相談者の自宅に訪問

時間:希望者と調整しながら1回30分～1時間程度とする

方法:面談を基本とするが、希望があれば電話での相談にも応じる。

相談料:無料

■こころのケア事業の利用者に対し随時アンケートを配布する。

次年度以降の展開

○被災者の生活自立支援活動としてももの作り、手作り手芸工房の継続的な運営など、広く被災地域住民を対象とした公益性の高い事業を行う。手芸工房の運営、手芸の制作、販売には被災地域の人を雇用し、仕事として手芸製作活動を行う事で被災地の復興、生活再建に繋げていく。そして手芸工房の場所を利用した住民交流会を開催することで人の集まる居場所づくりを通じた被災地での新たなコミュニティ形成を目指す。○こころのケア事業も継続して実施し、民間のカウンセラー資格を取得したスタッフを3名以を配置する事を目標とする。